

2020年度（令和2年度）

事業計画書・収支予算書

公益財団法人目黒区国際交流協会

## 2020年度（令和2年度）公益財団法人目黒区国際交流協会事業方針

### 【基本的な考え方】

いよいよ2020年はオリンピック・パラリンピック東京大会を迎えることとなります。近年の訪日観光客数は年間3000万人前後と活況を呈し、今年の世界中の注目を集める一大スポーツイベントの開催により、その数もピークに達するものと予測されます。また、我が国の国際化の波は、旅行者等の一時的な滞在に限られるものではありません。ここ5カ年の目黒区の外国人住民数（住民登録者数）を見てみると、2014年10月では7,168人、2019年10月では9,644人と1.35倍に、東京都全体で見ると、2014年10月では約41万人、2019年10月には約57万人と1.4倍にも達しています。外国人と日本人双方が、これまでのように、お互いの文化の紹介や交流等の機会を通じて相互理解を深めつつ、さらに、地域で生活を共にする関係であることを認識しなくてはならない時代を迎えようとしています。

区では、「外国人住民と共に生きるまち目黒」を目指して、2017年3月に「めぐろ多文化共生推進ビジョン」を策定しました。この中には、施策目標として、「外国人住民が地域で安心して生活し、働くことができる環境整備」、「外国人住民の地域社会の参画促進」、「区民と外国人住民との共に歩む意識の醸成」が掲げられています。目黒区国際交流協会では、外国人と日本人とのふれあいの場の提供や広報活動を中心に、多年にわたり様々な活動を実施してきました。今後は、より一層目標の達成に向けて、従前の事業とともに、外国人住民が地域で共に暮らしていくための調査研究や情報提供等について、取り組んでまいります。あわせて、限られた人的・財政的資源をより有効に活用するために、事業の重点化や整理統合もさらに進めていくこととします。常に事業の効果や必要性を意識しながら、外国人と日本人双方が、互いの人権や立場を尊重しつつ、これからの多文化共生時代に的確かつ適切に対応できるように、施策の推進に努めてまいります。

### 【事業方針】

1. 引き続き「めぐろ多文化共生ビジョン」の実現に寄与する。

これまでの経緯や成果を踏まえつつ、さらに施策目標の達成に向けて、目黒区及び関係団体等と連携し事業を進める。あわせて、他自治体等の取組に関する情報収集等を積極的に行うことで、事業内容の充実を図る。

2. 事業の整理統合を図りつつ、事業内容のさらなる展開・充実を目指す。

実施事業の整理統合を行い、その結果生じる資源（人的・財政的）を新たな事業の展開や充実に振り向ける。

## 2020年度（令和2年度）事業計画書

公益財団法人 目黒区国際交流協会

		令和2年度 予算（円）	令和1年度 予算（円）	前年度比 （円）
<b>(1号事業) 国際交流事業</b>				
<b>(1号事業 計)</b>		<b>1,458,500</b>	<b>1,586,000</b>	<b>▲ 127,500</b>
(1)	<b>留学生の交流と社会参加</b> 留学生が日本社会に参加し地域住民と交流できるように、日本人家庭を訪問するホームビジット等を実施する。	81,000	232,000	▲ 151,000
(2)	<b>文化、スポーツ、経済にわたる国際交流</b>	136,000	83,000	53,000
	① 外国人と楽しむ観光まち歩き めぐろ観光まちづくり協会等と連携して、外国人訪問客とボランティアが共に楽しむ観光まち歩き事業を実施する。併せて観光通訳ボランティアの育成に取り組む。			
	② スポーツ交流(再開) 中央体育館改修工事の完了に伴い、目黒区弓道連盟と連携して、弓道実射体験を実施する。	1,500	0	1500
	③ 国際交流フェスティバル 区民のMIFA活動への理解を深め、地域の国際交流・国際理解を促進するために、参加型の国際交流フェスティバルを開催する。令和2年度は、特定のテーマ(「環境」、「防災」等)を設定し、このテーマに則した展示や催し等を中心とする。	700,000	700,000	0
(3)	<b>外国人住民の日本文化体験や各国の文化紹介</b>	365,000	397,000	▲ 32,000
	① 伝統文化教室 外国人がいけ花、茶道、囲碁などの日本の伝統文化を体験して、その精神を知り理解を深めるとともに、地域住民と文化体験を通じて交流する。			
	② 文化理解講座 外国人が自国の文化を紹介するとともに、区内大使館や関係団体、ボランティアなどの協力を得て、各国の文化や料理を紹介し地域における国際理解を促進する。 * 中高生や留学生が興味を持つ内容やテーマを取り込み、多様な文化に触れる機会を提供する。	175,000	174,000	1,000

	令和2年度 予算(円)	令和1年度 予算(円)	前年度比 (円)
<b>(2号事業) 外国人支援事業</b>			
<b>(2号事業 計)</b>	<b>5,049,668</b>	<b>5,049,668</b>	0
(1) <b>日本語学習の支援(充実)</b> ボランティアを中心に日本語会話サロンを運営し、外国人住民の日本語習得を支援し交流する。	110,000	110,000	0
(2) <b>外国人住民の各種相談と生活情報の提供</b> 外国人相談員を配置し、外国人住民の来庁時の通訳を行うとともに、情報提供や生活上の問い合わせに多言語で対応する。【区受託事業】	4,804,668	4,804,668	0
(3) <b>通訳者派遣及び翻訳の協力</b> 行政サービスや行政主催事業において通訳ボランティアを派遣し、行政から発信する文書の翻訳をボランティアに依頼する。また、ボランティアの研修を実施し通訳及び翻訳の技術向上を目指す。	99,000	99,000	0
(4) <b>土曜トークカフェ</b> 外国人住民が日本人と英語で交流し、情報交換する機会を提供する。国際交流フェスティバルでのパネルディスカッションにつなげていく。	32,000	32,000	0
(5) <b>災害時多言語支援</b> 避難所等での外国人支援のため、自動通訳翻訳機器等の適切な利用方法について調査・研究する。	4,000	4,000	0
<b>(3号事業) 国際交流並びに外国人支援に関する 調査、研究、広報活動</b>			
<b>(3号事業 計)</b>	<b>1,753,200</b>	<b>2,166,080</b>	<b>▲ 412,880</b>
(1) <b>広報・会報</b> 協会事業を各媒体でPRする。会報(MIFA NEWS)・ホームページ・メールマガジン・フェイスブック等により情報を発信する。	968,200	956,080	12,120
(2) <b>英文情報紙</b> 外国人住民へ生活に必要な情報を提供するため、英文情報紙を作成する。これまでの経緯を踏まえ、他の情報提供ツールとの整合性やバランス等を考慮し、紙面の充実を図る。	730,000	1,155,000	▲ 425,000
(3) <b>資料室</b> 外国人住民に役立つ情報を多言語で提供できるよう、資料を整備する。	5,000	5,000	0
(4) <b>多文化共生に関する研究</b> 外国人住民のニーズ調査に広く取り組み、項目出しを行う。その中で、迅速な対応が可能で外国人居住者にとって効果の高いと思われる項目を選定し、改善策等を区に提案する。	50,000	50,000	0
	令和2年度 予算(円)	令和1年度 予算(円)	前年度比 (円)

(4号事業) 地域の国際交流活動団体との連絡、 調整及び支援				0
(4号事業 計)		16,000	16,000	
(1)	活動支援 登録団体の活動を協会広報誌等を通じて区民に広く紹介する。また協会会議室を団体に貸し出す。	16,000	16,000	0
(5号事業) 国際交流ボランティアの発掘と支援				
(5号事業 計)		50,000	56,000	▲ 6,000
(1)	ボランティア講座 地域住民の国際理解を深め多文化共生への意識を醸成する講座を開講し、協会の活動参加の契機としボランティア登録を促進する。	50,000	50,000	0
(2)	外国人おもてなし語学ボランティア育成講座(終了) 東京都の事業が終了したことを受け、区の事業を終了する。	0	6,000	▲ 6,000
(6号事業) その他この法人の目的を達成するために 必要な事業				
(6号事業 計)		2,000	2,000	0
(1)	大使館との協力 目黒区内および近隣にある外国大使館からの要請に基づき、事業の支援等を行う。	2,000	2,000	0
事業費予算合計		8,329,368	8,875,748	▲ 546,380

# 令和2年度収支予算書（正味財産増減ベース）

（令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月 31日まで）

公益財団法人目黒区国際交流協会

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
<b>基本財産運用益</b>	<b>3,957,246</b>	<b>3,957,246</b>	<b>0</b>
基本財産受取利息	3,957,246	3,957,246	0
<b>受取会費</b>	<b>730,000</b>	<b>730,000</b>	<b>0</b>
協力会員受取会費	630,000	630,000	0
賛助会員受取会費	100,000	100,000	0
<b>事業収益</b>	<b>855,500</b>	<b>802,000</b>	<b>53,500</b>
公益目的事業収入	855,500	802,000	53,500
<b>受取補助金等</b>	<b>42,324,342</b>	<b>43,006,255</b>	<b>-681,913</b>
受取地方公共団体補助金	37,519,674	37,471,987	47,687
受取地方公共団体委託金	4,804,668	5,534,268	-729,600
<b>受取寄付金</b>	<b>10,000</b>	<b>10,000</b>	<b>0</b>
受取寄付金	10,000	10,000	0
<b>雑収益</b>	<b>35,000</b>	<b>35,000</b>	<b>0</b>
受取利息	10,000	10,000	0
雑収益	25,000	25,000	0
<b>経常収益計</b>	<b>47,912,088</b>	<b>48,540,501</b>	<b>-628,413</b>
(2) 経常費用			
<b>事業費</b>	<b>40,489,994</b>	<b>41,176,306</b>	<b>-686,312</b>
給与手当	21,815,394	25,113,682	-3,298,288
臨時雇賃金	5,725,320	5,367,720	357,600
福利厚生費	3,639,214	4,067,406	-428,192
旅費交通費	105,000	110,500	-5,500
通信運搬費	222,000	242,000	-20,000
消耗品費	1,291,000	1,533,500	-242,500
印刷製本費	103,000	118,000	-15,000
光熱水料費	468,597	468,597	0
役務費	87,280	61,280	26,000
賃借料	409,000	436,000	-27,000
諸謝金	215,422	429,422	-214,000
保険料	37,000	37,610	-610
支払負担金	20,000	20,000	0
委託費	6,094,380	3,008,312	3,086,068
雑費	157,387	62,277	95,110
消耗什器備品	100,000	100,000	0
<b>管理費</b>	<b>6,883,610</b>	<b>6,933,966</b>	<b>-50,356</b>
役員報酬	626,000	626,000	0
給与手当	4,564,896	4,621,159	-56,263
臨時雇賃金	0	0	0
福利厚生費	573,629	567,722	5,907
研 修 費	80,000	80,000	0
旅費交通費	40,000	40,000	0
通信運搬費	24,000	24,000	0
消耗什器備品	150,000	150,000	0
消耗品費	3,000	3,000	0
修繕費	40,000	40,000	0
印刷製本費	23,000	23,000	0
光熱水料費	312,398	312,398	0
役務費	300,000	300,000	0
賃借料	15,000	15,000	0
費用弁償	100,000	100,000	0
委託費	0	0	0
租税公課	5,000	5,000	0
雑費	26,687	26,687	0
<b>経常費用計</b>	<b>47,373,604</b>	<b>48,110,272</b>	<b>-736,668</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	538,484	430,229	108,255
評価損益等計	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>538,484</b>	<b>430,229</b>	<b>108,255</b>
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	538,484	430,229	108,255
一般正味財産期首残高	15,601,397	15,035,927	565,470
一般正味財産期末残高	16,139,881	15,466,156	673,725
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	300,000,000	300,000,000	0
指定正味財産期末残高	300,000,000	300,000,000	0
III 正味財産期末残高	316,139,881	315,466,156	673,725

令和2年度収支予算書（正味財産増減ベース）内訳表

（令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月 31日まで）

公益財団法人目黒区国際交流協会

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
<b>基本財産運用益</b>	<b>2,770,072</b>	<b>1,187,174</b>	<b>0</b>	<b>3,957,246</b>
基本財産受取利息	2,770,072	1,187,174	0	3,957,246
<b>受取会費</b>	<b>730,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>730,000</b>
協力会員受取会費	630,000	0	0	630,000
賛助会員受取会費	100,000	0	0	100,000
<b>事業収益</b>	<b>855,500</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>855,500</b>
公益目的事業収入	855,500	0	0	855,500
<b>受取補助金等</b>	<b>36,089,140</b>	<b>6,235,202</b>	<b>0</b>	<b>42,324,342</b>
受取地方公共団体補助金	31,284,472	6,235,202	0	37,519,674
受取地方公共団体委託金	4,804,668	0	0	4,804,668
<b>受取寄付金</b>	<b>10,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>10,000</b>
受取寄付金	10,000	0	0	10,000
<b>雑収益</b>	<b>35,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>35,000</b>
受取利息	10,000	0	0	10,000
雑収益	25,000	0	0	25,000
<b>経常収益計</b>	<b>40,489,712</b>	<b>7,422,376</b>	<b>0</b>	<b>47,912,088</b>
(2) 経常費用				
<b>事業費</b>	<b>40,489,994</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>40,489,994</b>
給与手当	21,815,394	0	0	21,815,394
臨時雇賃金	5,725,320	0	0	5,725,320
福利厚生費	3,639,214	0	0	3,639,214
旅費交通費	105,000	0	0	105,000
通信運搬費	222,000	0	0	222,000
消耗品費	1,291,000	0	0	1,291,000
印刷製本費	103,000	0	0	103,000
光熱水料費	468,597	0	0	468,597
役務費	87,280	0	0	87,280
賃借料	409,000	0	0	409,000
諸謝金	215,422	0	0	215,422
保険料	37,000	0	0	37,000
支払負担金	20,000	0	0	20,000
委託費	6,094,380	0	0	6,094,380
雑費	157,387	0	0	157,387
消耗什器備品	100,000	0	0	100,000
<b>管理費</b>	<b>0</b>	<b>6,883,610</b>	<b>0</b>	<b>6,883,610</b>
諸謝金	0	0	0	0
役員報酬	0	626,000	0	626,000
給与手当	0	4,564,896	0	4,564,896
臨時雇賃金	0	0	0	0
福利厚生費	0	573,629	0	573,629
研修費	0	80,000	0	80,000
旅費交通費	0	40,000	0	40,000
通信運搬費	0	24,000	0	24,000
消耗什器備品	0	150,000	0	150,000
消耗品費	0	3,000	0	3,000
修繕費	0	40,000	0	40,000
印刷製本費	0	23,000	0	23,000
光熱水料費	0	312,398	0	312,398
役務費	0	300,000	0	300,000
賃借料	0	15,000	0	15,000
費用弁償	0	100,000	0	100,000
委託費	0	0	0	0
租税公課	0	5,000	0	5,000
雑費	0	26,687	0	26,687
<b>経常費用計</b>	<b>40,489,994</b>	<b>6,883,610</b>	<b>0</b>	<b>47,373,604</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 282	538,766	0	538,484
評価損益等計	0	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 282</b>	<b>538,766</b>	<b>0</b>	<b>538,484</b>
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 282	538,766	0	538,484
一般正味財産期首残高	13,385,655	2,215,742	0	15,601,397
一般正味財産期末残高	13,385,373	2,754,508	0	16,139,881
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	210,000,000	90,000,000	0	300,000,000
指定正味財産期末残高	210,000,000	90,000,000	0	300,000,000
III 正味財産期末残高	223,385,373	92,754,508	0	316,139,881